

地域のエネルギー自立に向けた市民参加手法・ツールの研究とその創造のための対話・実践活動

岩手大学農学部 原科幸爾 / NPO法人紫波ing

■ 背景と目的

- ・岩手県紫波町における循環型まちづくりの取り組み
⇒行政主導で行われてきた側面が大きい
- ・地域主導によるエネルギー自立に向けては、一層の市民参加が必要
- ・市民参加型太陽光発電事業でも町内からの出資者が20%
- ・そこで、本研究・活動では、本事業を主な題材として、多様な市民参加手法・ツールを開発し、それらを活用した市民参加機会の創出を行う

■ 研究・活動の概要

エネルギーダイアログ

- ・多様な主体の参加
- ・エネルギー利活用の学習・検討
- ・自然エネルギー学校の企画・運営の議論



自然エネルギー学校

- ・セミナー、見学会、太陽光発電学習会など
- ・エネルギーダイアログへフィードバック

意識調査

エネルギーダイアログ、自然エネルギー学校への参加者、パネル設備の周辺住民、パネル設置小学校の生徒・教員等

- ・再生エネへの考え
- ・おひさま事業の認知度

■ 活動の実施体制

里山エネルギーシフト紫波(里エネ紫波)

【申請者】

岩手大学
准教授 原科幸爾
卒論生 吉田ちひろ

【申請者】

里エネ紫波 事務局:
・NPO法人紫波ing(申請代表団体)
・紫波グリーンエネルギー株式会社
・町内外有志個人・団体

連携・委託



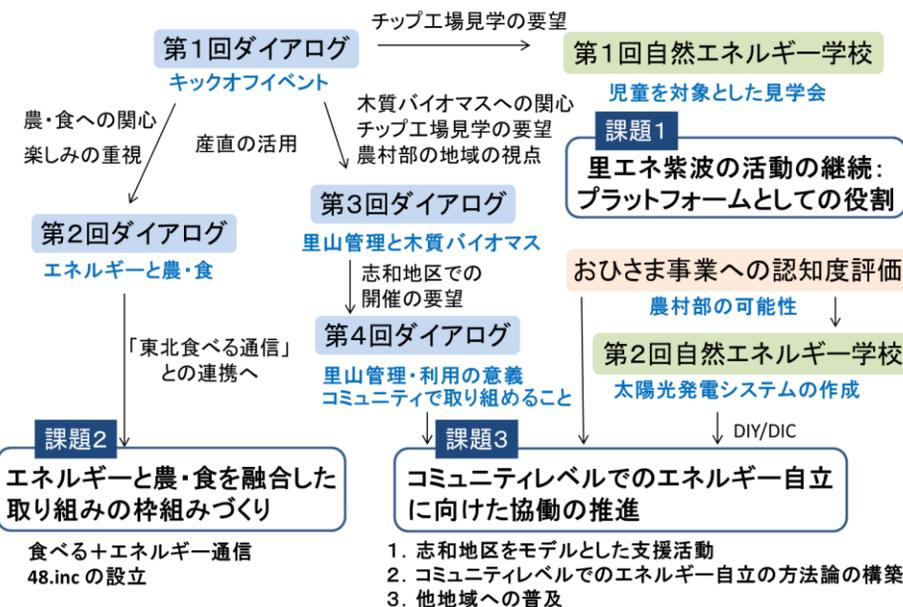
【連携者】普及活動ファシリテーター(委託)
立教大学兼任講師 大和田順子氏

【連携者】自然エネルギー学校講師
・いわきおてんとSUN企業組合
・町内工事会社 ほか
※下記自然エネルギー学校講師等として
・一般社団法人しわ・まちコーディネート
・岩手県中小企業家同友会 ほか

■ 研究・活動の成果

1. 「里山エネルギーシフト紫波(里エネ紫波)」の立ち上げ
2. エネルギーダイアログの実施(参加者のべ139名)
第1回「はじまる、はじめる 里山×エネルギー×紫波！」(2014.8.17)
第2回「農+食食べる×エネルギー」(2014.9.27)
第3回「紫波でもやります！里山資本主義」(2014.11.24)
第4回「山を守り、山をどう生かすか ～志和の暮らし方講座～」(2015.3.15)
3. 自然エネルギー学校の実施(参加者のべ95名)
第1回「紫波まるごと！自然エネルギー教室」(2014.12.15)
第2回「紫波まるごと！自然エネルギー教室
～ミニ太陽光発電システムワークショップ！」(2015.4.25)
4. 紫波町市民参加型おひさま事業の認知度評価

■ まとめと今後の成果



グループワークの成果発表 (第1回ダイアログ)



里山管理現場の見学 (第3回ダイアログ)